

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6、7	身体拘束や虐待についての勉強会とアンケート調査などを行っているが、スタッフ間での話し合いが持てていない。	スタッフ全員が日々のケアの中で身体拘束・虐待の防止に対する意識を持ち、早期発見と防止に努める。	月一度のユニットでのカンファレンスの場を活用し、話合う場を持つ。スタッフ全員が注意喚起しあい、防止に努めていく。	12ヶ月
2	48	利用者間で能力の差があり、活動に参加できる方の希望に沿いがちになることから、個人の希望に沿った活動の実施が難しい。意思表示の難しい方に合った活動や楽しみごとを上手く見出せない。	利用者の出来る事、楽しみごとを個別に把握し日々の生活に取り入れていく。	各利用者の状況を個別に把握し、スタッフ間で共有しあう。利用者の希望・要望の把握。困難な場合は本人本位に検討する。個別ケアの検討・実施。	12ヶ月
3	41	食事の提供量にばらつきがあり、食べる量の多い利用者は体重増加につながっている。各利用者のだいたいの摂取量は把握しているが、実際の提供する量より多かったり少なかったりしている。	各利用者の健康状態に合った食事量の提供をしながら利用者の体重増加を防ぎ、食べる楽しみを支援する。	各利用者の嗜好、摂取量、栄養バランスの把握を行い、職員へ周知徹底する。又、残飯が多い為、調理時の量を調整する。	12ヶ月
4	34	事業所にAEDが設置されているが、使用方法が職員に周知徹底されていない。	利用者の急変時に適切にAEDを使えるように訓練する。	応急手当やAEDの使用方法について、全職員を対象に講習会を開催する。	12ヶ月
5	27	記録の記入が職員によってバラツキがあり、記入すべき点の漏れがある。	正しい記録を残し、職員間での情報の共有・把握、ケアプランへの反映が行えるようにする。	経時記録やモニタリングのケアプランとの関係性や記入の仕方の勉強会を行う。又、必要時に記録用紙の見直しも行っていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。